



旭川市



稲作体験塾（田植え編 5月）

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

あさひかわ農業体験塾（JAあさひかわ&北海道教育大学旭川校） 【旭川市】

農業の大切さを発信！若い世代につなぐ（食育活動・農業体験）

はじめは？

本団体は平成19年に北海道教育大学と相互協力協定を締結している JAグループ北海道中央会の協力を得て、JAあさひかわ生産者圃場で平成27年秋に稲刈り体験を実施したのがきっかけで始まりました。

その後、令和3年現在まで継続的に活動が続いており、現在では稲作に関わる体験活動だけではなく、食育活動や、農業の講演会など地域農業者とも関わり、様々な活動を行っています。教員志望の学生らに田植えや収穫作業など農業の現場を知ってもらい、将来教職に就校した際に、子供達へ農業の大切さを伝えてもらうことを期待しています。

おもな活動

北海道教育大学旭川校学生約30~40名、農業者、JAあさひかわが一体となり①田植え体験（5月）、②稲作り講演（6月）、③トマト収穫体験（8月）、④稲刈り体験（9月）、⑤地元素材料理体験（9月）、⑥しめ縄づくり（12月）、⑦そば打ち体験（12月）、⑧1年を振り返っての感謝祭（2月）など多岐にわたる活動を毎年行っています。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け活動を中止していますが、今後も新たな取り組みを踏まえながら活動を継続し、農業者との交流を通して農業・農村の素晴らしさを若い世代の学生に発信して参ります。



そば打ち体験

ここが自慢

【学生、子供たちに農業の大切さを繋ぐ体験】

旭川市は稲作の一大生産地であり、他にも野菜や果樹など、農産物が豊富に生産される地域です。また地域の学問の拠点となる北海道教育大学旭川校があり、将来、教員となり北海道の教育を支えていく学生にとって先進的な食農活動が出来る教育土壤を持っています。稲作体験のみならず一年を通して様々な活動を行っていることは、まちを支える大切な産業の担い手と若い世代の大学生が直接関わることで、世代を超えた人と人との交流の貴重な機会にもなっております。

活動については北海道教育大学・JAあさひかわのHP、広報誌で掲載し地域の魅力発信に努め、食農教育と地域農業の活性化に繋がっております。



←トマト収穫体験(8月)

しめ縄づくり(12月)→



連絡先

代表者名：組合長 島山守穂さん／設立：2015年／会員：50名

住 所：旭川市豊岡4条1丁目1番18号

電話番号：0166-37-8855（JAあさひかわ 岩崎）

F A X：0166-31-5377

E-mail：yasuo.iwasaki@ja-asahikawa.or.jp

U R L：http://www.ja-asahikawa.or.jp